

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

6月号



Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター

〒861-0593

熊本県山鹿市山鹿511番地

TEL 0968-44-2185 (代)

FAX 0968-44-2420

当センターでは職員の積極的な資格取得を応援しています

資格取得により、本人のキャリアアップと同時に病院全体の質の向上が可能となり、最終的には患者さんに還元できていると考えています。特定行為研修修了看護師が2名誕生し、合計3名となりました。特定行為看護師は医師の包括的指示により、迅速な処置が可能です。

(病院事業管理者 別府 透)

令和6年3月に特定行為研修を修了しました

特定行為看護師とは特定行為を行うために必要な研修を修了し、臨床推論力、病態判断力など医学的知識をベースとした看護実践が可能になります。

私は、外科術後領域のドレーン管理、栄養に係るカテーテル管理、動脈血ガス分析関連などの15の特定行為が手順書に沿って実施できるようになるため、担当医が不在時や、その他処置治療ですぐに対応できない場合に、患者さんを待たせることなく迅速な対応を行うことができます。

医師は包括的指示を明確にすることで、特定行為看護師へのタスクシフトが可能になり、専門業務に専念する時間もとれ、医師の業務軽減にもつながると思います。看護師間でも、医師を待つ時間が短縮され、看護業務の効率化につながり、学んだ知識を還元することで看護の質の向上へも期待できると思います。

現在は、安全な特定行為の実施に向けて、手順書の作成や環境調整を行っているところです。

今後は、多職種協働、連携を図りながら、患者さんにとっても医療者にとってもメリットをもたらす看護、医療の提供ができれば幸いです。(文責：2階病棟看護師 田中 千春)

私は、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」、「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」の2区分5行為が手順書に沿って実施できるようになります。

患者さんの脱水の状態をアセスメントすることで早期に輸液による補正を行い脱水状態の改善を行ない、患者さんの

低栄養状態を改善するために、高カロリー輸液の投与量の調整や、食事が摂れる様に関わります。

一方、せん妄や不安がある患者さんには、状態に合わせ、抗けいれん剤・抗精神病薬・抗不安薬の臨時投与を行ないます。

入院による環境の変化は、高齢の患者さんの不安な思いや不眠を増強させます。特に認知症の人は慣れない環境で、

点滴や色々な治療を受けられるため、いつもと違う行動をされることもあります。今後は、研修での経験を活かし、患者さんが少しでも落ち着いた状態で安心・安全に入院生活が送れるよう、医師や多職種と共に考えていきたいと思っています。

(文責：3階病棟副看護師長 川原 奈美)



基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

看護師の特定行為研修を修了しました	…… P 1
新人職員研修／部署紹介	…… P 2
医療最前線 (156)	…… P 3
第78回公開講演会のご案内	…… P 3
外来担当医表 (6月)	…… P 4

令和6年度新入職者研修を開催しました

4月1日から3日までの3日間で新入職者研修を開催しました。

今年度は医師、臨床検査技師等のコメディカル、看護師、事務職等多職種が入職し、昨年度からの入職者3名を含む総勢24名が受講しました。朝一番の辞令交付式後、緊張感と初々しさが交わる中研修が始まりました。初日は全体研修として、当センターの概要、地域の中での役割、医療連携、接遇、医療安全、感染防止等幅広い内容となりました。

2日目以降は主に医療職を中心に、電子カルテ操作、薬剤、放射線、検査、SPDなど各診療部門での研修となりました。



3日間の研修を通して、少しずつ仲間意識も芽生えてきたようです。今後は配属先での本格的な業務に従事していきますが、同期の繋がりを大切にし、お互いを支え、励ましあう存在になってもらいたいと思います。

当センターは、「笑顔あふれる病院」をスローガンに「地域住民の生命と健康への貢献」の理念のもと職員一丸となって地域医療の充実に努めてまいります。

皆さま方には引き続きご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(文責：経営管理課課長補佐 田尻 祐介)

訪問看護室「菜の花」

訪問看護室「菜の花」は、緩和ケアを主とし、医療処置が必要で通院困難な患者さんや、人生の最後を自宅で迎えたいと希望される患者さんとそのご家族を対象としています。看護の提供・指導、療養生活の様々な悩みや相談に応じ、「無理をしない無理をさせない安心な在宅療養」を理念とし、安心安全な在宅生活を送れるよう支援することを目的に、平成25年4月に開設しました。

訪問看護室長は外科の織田枝里医師です。訪問看護師長と2名の看護師で活動しています。看護師2名が訪問に行くのは午後のみとなっていますが、午前中は外来に勤務しておりいつでも相談に応じることができるようになっています。現在は緩和ケアの



患者さんだけでなく、血糖コントロールや在宅酸素の管理等の訪問も行っています。

24時間の訪問対応が困難であるなどの側面もありますが、必ず当センターに主治医がいるため、迅速な指示受け、救急外来との情報共有、訪問先から入院ベッドの確保ができるなど、柔軟な対応が出来ることが利点です。また、訪問診療も実施しています。

高齢化や感染症の流行により社会が変化する中、これからも住み慣れた地域の中で、安心して生活出来るよう、種々の関係機関と情報共有を行い、患者さんやその家族を取り巻く機関と連携し、医療・介護・福祉の包括的支援を心がけています。

(文責：訪問看護師長 宮園 清子)

医療最前線 (156)



術後疼痛管理について

麻酔科医師

相方 靖史

2023年11月より山鹿市民医療センター麻酔科医として着任いたしました。前任の加納医師が12月に退職され、その後麻酔科長として麻酔管理を担当しております。

私が医師になった25年ほど前は術後回復室で「手術したのだから痛いのは当たり前」だとか「痛みを感じるってことは生きている証拠だ」などという言葉を経験した時代でした。自分自身の未熟さのため硬膜外麻酔ができなかった手術では半覚醒で帰室させたり、「坐薬入れたからすぐ効きます」などその場しのぎでごまかしていたのを覚えています。

さて現在はどうでしょうか。2022年4月の診療報酬改定において「術後疼痛管理チーム加算」と称し、多職種により質の高い術後疼痛管理を行うことに対し一定の条件を満たせば加算が取れるようになりました。つまり医療行為として術後痛を軽減させることは合理的であり、患者さんの回復を促し、かつ最終的には医療費の削減につながると国が認めたと解釈できます。

術後痛により交感神経は賦活化します。頻脈となり血圧が上昇します。発汗も著明になり頻呼吸を呈します。痛みのため眠れず、食事を摂ることもままなりません。当然、点滴で管理する時間が長くなると離床が遅くなり導

尿カテーテルの抜去もできません。また術後の機能訓練も遅れます。交感神経の賦活化により周術期の脳血管障害や心血管障害などのリスクが高くなることも医学的に示されています。これらの問題点を改善するために術後痛を軽減させる必要があります。つまり術後痛を適切に管理することで周術期のリスクを軽減し、早期離床や機能回復を促すことができるというわけです。

近年、超音波診断装置の普及により超音波ガイド下の末梢神経ブロックが盛んに行われるようになりました。当センターでも最新のポータブルエコーを導入し可能な限り末梢神経ブロックを行い、術後痛の軽減に努めています。術式によっては硬膜外麻酔を併用し術後は「患者調節性硬膜外鎮痛法」により患者さんご自身によって痛みをコントロールしていただくことも行っています。硬膜外麻酔ができない手術や患者さんには「患者調節性経静脈的鎮痛法」により数日間の疼痛緩和を行っています。

術後痛の管理においてももう一つ重要な要素が副作用の軽減です。麻薬性鎮痛薬は嘔気や嘔吐が大きな問題です。それを薬剤師や看護師の協力のもと、いち早く認識し適切に対応することで患者さんの苦痛の軽減に努めます。

現在では術後に痛いのは異常なものと認識するべきかもしれません。痛みが全くないことは困難でありかえって治癒を遅らせることにもなりかねませんが、適度に痛みをコントロールすることは十分可能なことです。「安全な手術」から「安全かつ快適な手術」へ。そんな医療のご提供ができることを目指しています。

第78回公開講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1 単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名

10. チーム医療

下記により第78回公開講演会を開催いたします。
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典

山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

日時：令和6年6月14日（金）19：00～

形式：ハイブリッド方式(オンライン参加or会場参加)

会場：オンライン参加 / Zoomミーティング

会場参加/山鹿市民医療センター1階医療研修センター

演題：「周術期における多職種連携 ～周術期管理チームのご紹介～」

司会：山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏 先生

演者：山鹿市民医療センター 麻酔科 相方 靖史 先生

参加費：無料

【参加要領】 下記参加URL、又は参加QRコードからご参加ください。

(参加URL) : <https://zoom.us/j/99790750316>

(参加QRコード) ⇒

ミーティング ID : 997 9075 0316

パスコード : 524914



※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。

※快適にご視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めいたします。

お問合わせ先 📍 山鹿市民医療センター

地域医療連携室 水田、西田

TEL:0968-44-2185 FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会

山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

外来担当医表

6月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※後藤 由比古	※赤池 公孝	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※宮本 英明
消化器内科	中垣 貴志	竹野 洋司	本原 利彦	竹野 洋司 中垣 貴志	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 中山 智子	中山 智子 清水 博	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 中原 達秀 井手 淳之介	工藤 智志 中原 達秀 井手 淳之介	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河隆敏 / 増田稔郎 辛島龍一 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 増田 稔郎
乳腺外科	—	※富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	—	※原田 成美	—	※神波 大己 教授	—
小児科	小澄 将士	小澄 将士(午前) ※石井 真美(午後)	小澄 将士 (午後：予防接種)	小澄 将士(午前) ※石井 真美(午後)	小澄 将士
*小児科の午後は、16:00受付終了となります					
耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科(予約制)	—	非常勤医師	非常勤医師	—	—
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	※片渕美和子(午後) (受付13:00~16:30) 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師(午前) ★非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	非常勤医師 (午前)
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 吉岡 明子(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	奇数週：担当医 偶数週：吉岡明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)~11:00

◎当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。

※ 非常勤医師です。★ 第2、第4のみ診療となります。

特殊・専門外来【予約制】

6月

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
外 来 化 学 療 法	担 当 医	<div>毎週</div> 火曜・水曜	各 診 療 科
	※ 宮 本 英 明	<div>毎週</div> 金曜（がん薬物療法専門医）	
禁 煙 外 来	坂 田 和 子	<div>毎週</div> 月曜（午後）	Aブロック
睡 眠 時 無 呼 吸 外 来	坂 田 和 子	<div>毎週</div> 火曜・木曜（午後）	
小 児 科 予 防 接 種	小 澄 将 士	<div>毎週</div> 水曜（受付時間13:30～16:00）	
ス ト ー マ 外 来	担 当 医	<div>毎月</div> 第3水曜（午後）	Bブロック
P E G 外 来	担 当 医	<div>毎月</div> 第2水曜（午後）	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>